

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	図画工作科	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実																																																																					
9 開隆堂	<p>①題材の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の目標を、3種類のマーク（「試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力」、「形や色、方法や材料をくふうする力」、「心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」）と文章で示している。 ○ 各題材の周囲に、4観点の評価に対応する児童への投げかけを子どもにも理解しやすい言葉で示している。 <p>②材料や用具の取り扱い、説明の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学年において目次に、使用する主な用具・材料を色分けして示している。 ○ 全ての学年において巻末に「パレットコーナー」及び「道具箱」を4ページ設け、表現に必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 題材によっては、そのページに活動を広げるような用具・材料の紹介がされている。 <p>③伝統と文化に関する鑑賞作品等の記載数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学年において伝統と文化に関する教材等が記載されている。 1・2上(3), 1・2下(3) 3・4上(3), 3・4下(3), 5・6上(3), 5・6下(3) <p>④「道徳の内容」との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学年において「道徳の内容」と関連した題材等を設定している。 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学年において図画工作で育てたい力などを3つのマークで表している。 具体例 【めあてに関するマーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力 ・ 形や色、方法や材料をくふうする力 ・ 心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力 【学習活動に関するマーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料や用具の使い方 ・ ふりかえてみよう（1・2上下） ・ ふりかえて、はなしあおう（3・4上下, 5・6上下） <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の作ったカードの活用の仕方を示している。1・2上P9 ○ 題材のよっては、3ページのものがあり、作業工程がよく分かる。5・6上P32～34 <p>⑥造形活動への意欲を高め、社会や文化とのかかわりを考えさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「小さな美術館」「ゆめをかたちに」「みんなのギャラリー」「見つけたよ、すてきな色」「裏表紙」の5つの視点から、鑑賞させたり、自ら学びたい気持ちをもたせやすくさせたりしている。 	<p>⑦題材数・構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th rowspan="2">題材数</th> <th colspan="5">構成</th> </tr> <tr> <th>造形遊び</th> <th>絵</th> <th>立体</th> <th>工作</th> <th>鑑賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・2上</td> <td>22</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1・2下</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3・4上</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3・4下</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5・6上</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5・6下</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ どちらかを選択する題材も示されている。 <p>⑧配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学年において題材を5項目に分類している。1つの題材で複数の項目を示している題材もある。 <p>⑨参考作品</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>サイズ明記のある参考作品数</th> <th rowspan="6">総数 571</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・2上</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>1・2下</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>3・4上</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>3・4下</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>5・6上</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>5・6下</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	学年	題材数	構成					造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	1・2上	22	4	9	2	7	3	1・2下	21	4	9	2	6	2	3・4上	21	3	8	2	7	1	3・4下	16	2	7	2	4	1	5・6上	17	2	6	2	6	1	5・6下	17	2	7	2	5	1	学年	サイズ明記のある参考作品数	総数 571	1・2上	88	1・2下	84	3・4上	104	3・4下	95	5・6上	98	5・6下	102	<p>⑩作品や造形活動についての解説・表記の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の解説として題名や作者の考え・感想を示している。 ○ 作品の解説として、大きさや材料、画材等も示している。 ○ 全ての学年において1つの題材を見開き1ページ又は2ページに記載している。一部3ページがある。 ○ 活動を通して育てたい力を三つにくくり、マークで表している。題材名の上には、その題材で一番大切にしたい目標を、マークとともに文章で示している。 ○ 最上部に学習の目あてと重点的な活動内容、最下部に学習の振り返りを位置づけている。 ○ 児童の活動中の様子が載せてある。 ○ ブルーの囲みに、児童の活動の視点が示されている。 ○ 鑑賞について、マークをつけて分かりやすくしている。 ○ 鑑賞教材で話し合う視点が吹き出しにしてある。 	<p>⑪言語活動の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動につながる鑑賞の目標を示している。 ・ 1・2上下では、鑑賞のコーナーに「自分や友だちの作ひんのよいところを見つけよう」という目標を示している。 ○ 活動を振り返って話し合う視点が示している。 ・ 1・2上下『ふりかえてみよう』3・4・5・6上下『ふりかえてはなしあおう』が右下にあり、話し合う視点を示している。 ○ カードを用いた鑑賞の方法を具体的に示している。 ・ 1・2上P9カード交換の方法や話し方が示されている。 ○ 鑑賞の視点と児童の言葉を示している。 ・ 1・2下P11では、自分の作品の紹介の仕方や友だちの作品の鑑賞の仕方が児童の言葉で示されている。 ・ 5・6下P32, 33では、6人の児童が違う視点で鑑賞し話し合っている言葉が示されている。 ○ 作品には、紹介文が書かれている。
学年	題材数	構成																																																																								
		造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞																																																																				
1・2上	22	4	9	2	7	3																																																																				
1・2下	21	4	9	2	6	2																																																																				
3・4上	21	3	8	2	7	1																																																																				
3・4下	16	2	7	2	4	1																																																																				
5・6上	17	2	6	2	6	1																																																																				
5・6下	17	2	7	2	5	1																																																																				
学年	サイズ明記のある参考作品数	総数 571																																																																								
1・2上	88																																																																									
1・2下	84																																																																									
3・4上	104																																																																									
3・4下	95																																																																									
5・6上	98																																																																									
5・6下	102																																																																									

①題材の目標の示し方
 ○ 各題材の目標を、5種類の色分け（造形遊びをする活動、絵に表す活動、立体に表す活動、工作に表す活動、かん賞する活動）と文章で示している。
 ○各題材名の下に、活動のきっかけとなる文章が示してある。

②材料や用具の取り扱い、説明の仕方
 ○ すべての学年において巻末に、「使ってみよう材料と用具」を6ページ設け、表現に必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。
 ○ 各題材で扱う主な用具を、ページ番号横にマークで示している。
 ○ 題材によっては、そのページに活動を広げるような用具・材料の紹介がされている。

③伝統と文化に関する鑑賞作品等の記載数
 ○ 全ての学年において伝統と文化に関する教材等が記載されている。
 1・2上(2), 1・2下(2)
 3・4上(3), 3・4下(3)
 5・6上(3), 5・6下(3)

④「道徳の内容」との関連
 ○ すべての学年において「道徳の内容」と関連した題材等を設定している。
 ○ 鳥のマークで、道徳の内容にかかわることを示している。

⑤興味・関心を高めるための工夫
 ○ すべての学年において学習活動に関するポイントなどをマークと単文で表している。
 具体例
【学習活動に関するマーク】
 ・ 形や色のチーロさん
 ・ きをつけよう
 ・ かたづけ
 ・ 活動の後で
【授業で使うおもな用具のマーク】
 ・ はさみ、のり、絵の具、クレヨン・パス、のこぎり、ペンチなど

○めあてが観点別に示してあり分かりやすい。
 ○作品や活動例が多く、イメージしやすい。
 ・1・2上P40・41では、材料・場所などの活動例が多く、様々な工夫ができる。

○ 観点に沿った学習のめあてが書かれている。

⑥造形活動への意欲を高め、社会や文化とのかかわりを考えさせるための工夫
 ○「教科書美術館」「図画工作の広がり」「ぞうけいのもり」「裏表紙」の4つの視点から、鑑賞させたり、自ら学びたい気持ちをもたせやすくさせたりしている。

⑦題材数・構成

学年	題材数	構成				
		造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞
1・2上	22	4	7	4	6	1
1・2下	22	4	7	4	5	2
3・4上	21	4	7	4	5	1
3・4下	20	4	6	4	5	1
5・6上	18	2	6	4	5	2
5・6下	18	2	6	4	4	2

○ 一題材の授業の様子が見え、子どもの学習活動や指導の流れがつかめるレイアウトになっている。

⑧配列
 ○ すべての学年において題材を5項目に分類している。活動ごとに色が違うマークで示しており、分かりやすい。

⑨参考作品

学年	サイズ明記のある参考作品数	総数 591
1・2上	85	
1・2下	85	
3・4上	80	
3・4下	110	
5・6上	107	
5・6下	124	

⑩作品や造形活動についての解説・表記の仕方
 ○ 作品として題名や作者の考え・感想を示している。
 ○ 作品の解説として、大きさや材料、画材等も示している。
 ○ 全ての学年において1つの題材を見開き2ページに記載している。
 ○ 題材の活動を5つに分けマークで示している。各題材の左上にマークで示されており、何の活動かが分かりやすい。
 ○ 活動を示したマークの横に活動のねらいが示されている。
 ○ 学習のめあて、活動のヒント（形や色のチーロさん）、きをつけよう、かたづけ、活動の後で、材料や用具の使い方等があり、児童が主体的に活動できるように示してある。
 ○ 思考のプロセスが児童の活動の姿で示してある。
 ○ 児童の活動の初め・途中の姿が多く載せてある。児童の表情も豊かで、その表情もヒントや活動を楽しむ気持ちにつながっている。

⑪言語活動の示し方
 ○ 言語活動につながる鑑賞の目標を示している。
 ・題材名の右側に学習の目あてが4観点示されており、『見たり感じたりするところ』に「友だちのくふうをみつけよう」「体で味わって気づいたことやおもしろさを友だちにつたえよう」「作品を見て、筆あとから感じた印象を話し合おう」など、目標が示してある。
 ○ カードを用いた鑑賞の方法を具体的に示している。
 ・形や色のチーロさんがみんなの活動のヒントを教えている。5・6上P10
 ○ 鑑賞の視点を吹き出しで示している。
 ・5・6上では、鑑賞の視点が吹き出しで3点書かれ、実際に鑑賞し感じたことや思ったことが紹介されている。
 ○ 鑑賞の仕方を児童の活動の様子や言葉で示している。
 ・1・2下P32, 33では、材料の感じや見せ方を味わう方法を言葉と様子で示している。
 ・3・4下P48, 49では、体を使って味わうやり方を言葉や様子で示し、発表した例も3例示してある。
 ○作品には、紹介文が書かれている。
 ○話し合う視点を示している。
 ・3・4上P11では、「絵のぐと水で、いろいろなあらし方ができるね。かんじたことを話してみよう。」
 ○発表タイムがある。
 ・3・4下P35では、楽器づくりのあと、作った楽器を演奏してみるなど、つくったものを楽しく発表している。